

# 令和4年臨時総代会開催

令和4年10月25日（火）午前10時より、東金文化会館大ホールにおいて、総代174名出席のもと臨時総代会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、3年ぶりに来賓にご臨席いただきました。

## 理事長挨拶 （要約）



### 理事長 森 英介

総代の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、早朝より多数のご出席を賜り、盛会のうちに開会できますことを厚く御礼申し上げます。

本年は全国各地で集中豪雨などの自然災害による農業施設や農作物の被害が頻発しておりますが、管内ではそのような被害はなく、一部施設に不具合が生じ、関係する皆様にはご迷惑をお掛けすることもございましたが、今年の用水業務は8月中旬をもって無事終了することが出来ました。いただきました様々なご協力に対し、皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、エネルギー価格高騰などに起因する電気料金価格の上昇が当初の想定を超え、施設の維持管理費に占める電気料金が大幅に増え、点検整備費・補修費を大きく圧迫するとともに本土地改良区の負担増が確実となっております。組合員へ負担を強いることにならないよう、電気料金高騰対策並びに施設管理に係る事業補助金のアップを私と石橋副理事長、両総用水事業推進協議会の会長、副会長共々、国、県へ要請したところ本年度、国においては予備費を活用し、農業水利施設の電気料金高騰対策として、地方交付金に土地改良区を直接支援するための交付金制度を創設していただきました。

また、千葉県においては圧迫される点検整備・修繕費について、来年度に予定していた地元負担が軽減される高補助率事業への乗り換えを本年度に前倒しして実施していただくことが決定しております。

次年度以降につきましても千葉県が管理する国営造成施設については、基幹水利施設管理事業に、また当土地改良区が管理している施設については、水利施設管理強化事業に電気料金価格の上昇分を補う施策が盛り込まれる予定となっております。当土地改良区では、これらの事業を有効活用することにより組合員負担の軽減に努めて参存です。

なお、本年度は、昨年度策定しました「両総土地改良区10年計画」の実施元年となっております。目的達成に向け実施計画を定め進めておりますが、目的の一つである地域農業の維持発展には、その礎となる土地改良事業の実施が必要不可欠でございます。

県営支線につきましても造成から50年以上が経過する中で老朽化が著しく、早期改修が必要となっている中、本土地改良区としましても千葉県のご協力をいただきながら各地域で改修に向けた様々な取り組みを行っておりますが、なかなか進んでおりません。これら事業推進には、当該地域の皆様のご理解が必要不可欠でございます。

総代の皆様を始めいたします、ここにお集まりの皆様には改めて事業推進へのご協力をお願い申し上げます。

## 来賓挨拶 （要約）



### 関東農政局 利根川水系土地改良調査管理事務所 所長 利根 基文 様

農業農村整備を取り巻く昨今の主な状況について申し上げますと、まず、令和5年度予算の概算要求につきましても、農業農村整備事業関係予算は5,273億円、対前年比118%の要求を行うことが出来ました。これは各地域の声をしっかりと中央に届けていただくなど関係の皆様方のご努力の結果、農業農村整備事業の必要性を力強く求めて行く姿勢を打ち出すことが出来たものだと考えております。この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げますと共に、年末の予算概

算決定に向けまして、更にしっかりと取り組んで参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、昨今のエネルギー価格の高騰に伴いまして、全国の土地改良区の業務運営、施設の維持管理に多大な影響が出ているという中で、本年9月に新型コロナウイルス感染症対策の地方創生交付金の一環として、「電力、ガス、食料品等、価格高騰重点支援地方交付金」が創設され、土地改良区における農業水利施設の電気料金高騰に対する支援も事業メニューの対象とされました。関係自治体とご相談の上、本交付金の活用をご検討いただければと存じます。

当事務所業務に直接関わる情勢といたしまして、農水省では昨年12月に両総土地改良区並びに千葉県のご協力のもと、令和4年産米の代掻き期用水、前倒しのための緊急取水の協議を行い、河川管理者から同意を得たところです。今後も年内に令和5年産米の代掻き期前倒し取水確保の内容を含む水利権の期間更新協議書を河川管理者に提出する予定ですので、皆様におかれましても引き続きご協力をいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。